

特別講演

- 11月1日(金) 14:00-14:40
イネ α -アミラーゼの機能発現制御と米品質 12
三ツ井敏明(新潟大学農学部応用生物化学科)

受賞講演

- 11月1日(金) 14:50-15:15
学会賞 植物の就眠ならびに捕虫運動の制御機構の化学的解明 13
上田 実(東北大院・理)

- 11月1日(金) 15:15-15:40
学会賞 ブラシノステロイドおよびジャスモン酸の生合成阻害剤の化学的研究 14
王 敬銘(秋田県立大学・応用生物科学)

- 11月1日(金) 15:50-16:10
奨励賞 オーキシン生合成に関わるフラビン酵素 YUCCA の機能解明 15
増口 潔(理研・環境資源科学研究センター)

口頭発表

- 10月31日(木) 10:50-12:30
1. インドール環の酸化を伴う IAA 代謝経路に関与する配糖体化酵素の同定 16
○田中慧太^{1,2,3}、林謙一郎⁴、夏目雅裕¹、神谷勇治²、榊原 均²、川出 洋¹、笠原博幸^{2,5}
(¹農工大院・連合農学、²理研 CSRS、³日本学術振興会特別研究員 DC、⁴岡山理大・生物化学、⁵JST さきがけ)
 2. イネにおけるオーキシン生合成阻害剤の探索 17
○山本光洋、筧 雄介、石田遥介、山崎千秋、佐藤明子、奈良(成川) 恵、中村郁子、嶋田幸久
(横浜市大・木原生研)
 3. TAA1 および YUCCA を標的としない新規オーキシン生合成阻害剤 18
○添野和雄¹、山崎千秋²、喜久里貢²、成川 恵²、佐藤明子²、高橋宏幸²、國土祐未子¹、石井貴広¹、浅見忠男³、
中村郁子²、嶋田幸久²
(¹農研機構・近中四農研、²横浜市大・木原生研、³東大院・農生科・応生化)
 4. 新型オーキシン生合成阻害剤、YUCCA 阻害剤の発見 19
山崎千秋¹、石井貴広²、國土祐未子²、添野和雄²、佐藤明子¹、鈴木優志¹、○嶋田幸久¹
(¹横浜市大・木原生研、²農研機構・近中四農研)
 5. シロイヌナズナのオーキシンホメオスタシスには YUCCA のフィードバック制御が重要である 20
○鈴木優志^{1,2}、山崎千秋¹、三井麻利江¹、三谷由佳^{1,2}、中村郁子¹、添野和雄³、嶋田幸久^{1,2}
(¹横浜市大・木原生研、²理研・植物センター、³農研機構・近中四農研)
 6. 阻害剤を利用したシロイヌナズナ新規オーキシン応答性遺伝子の探索 21
○石田遥介¹、筧 雄介¹、三井麻利江¹、林謙一郎²、浅見忠男³、嶋田幸久¹
(¹横浜市大・木原生研、²岡山理大・生物化学、³東大院・農生科)
 7. シロイヌナズナの根の光屈性におけるオーキシンの機能と作用機序の解析 22
○木村太郎¹、芳賀 健¹、林謙一郎²、Yunde Zhao³、竹林裕美子⁴、笠原博幸⁴、酒井達也¹
(¹新潟大・院・自然科学、²岡山理科大・生物化学、³UCSD、⁴理化学研究所・環境資源科学研究センター)
 8. イネ幼根の水分屈性の発現に及ぼすオーキシン関連阻害剤処理の影響 23
○中島佑介¹、藤井伸治¹、宮沢 豊^{1,2}、小林啓恵¹、高橋秀幸¹
(¹東北大・院・生命科学、²山形大学・理学部)
 9. シロイヌナズナ根におけるグルタミン酸による水分屈性の発現制御 24
○岩田 悟、藤井伸治、小林啓恵、高橋秀幸
(東北大・院・生命)
 10. 青色光に対するヒメツリガネゴケ原系体の忌避反応はジベレリン様新奇成長制御物質の制御を受ける 25
○豊島 輝¹、宮崎 翔^{1,2}、夏目雅裕¹、中嶋正敏³、川出 洋¹
(¹東京農工大院・農、²日本学術振興会特別研究員 PD、³東大院・農生科・応生化)
 11. ジベレリン様活性を示す合成化合物；探索と活性発現機構 26
○下高原宏明¹、大谷征史¹、羅 明¹、中野雄司²、浅見忠男^{1,3}
(¹東大院・農生科・応生化、²理研基幹研究所、³JST/CREST)

12. ジベレリン代謝制御剤 CBTC の構造展開と活性評価	27
○大谷征史、下高原宏明、Yoon Jung-min、Park Seung-Hyun、中村英光、中嶋正敏、浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)	
13. イネにおける 2 種の <i>ent</i> -コバリン 2 リン酸合成酵素遺伝子—第 2 報—	28
○坂井亜莉里 ¹ 、菅原千都 ¹ 、臼井雅美 ¹ 、高橋宏和 ² 、中園幹生 ² 、宮本皓司 ³ 、岡田憲典 ³ 、黒田昌治 ⁴ 、森本 優 ⁵ 、 山口信次郎 ^{5,6} 、山根久和 ^{3,7} 、三橋 渉 ¹ 、豊増知伸 ¹ (¹ 山形大・農学部、 ² 名古屋大院・生命農学研究科、 ³ 東大・生物生産工学研究センター、 ⁴ 農研機構・中央農研・北陸研究 センター、 ⁵ 東北大院・生命科学研究科、 ⁶ 理研・植物科学研究センター、 ⁷ 帝京大・理工学部・バイオサイエンス学科)	
14. ジベレリン生合成・代謝酵素 CYP714 ファミリーのリガンド認識機構	29
○新聞優子 ¹ 、久保尻由貴 ¹ 、大西利幸 ^{1,2} 、真籠 洋 ³ 、山口信次郎 ⁴ 、水谷正治 ⁵ 、轟 泰司 ^{1,2} (¹ 静大院農、 ² 静大グリーン研、 ³ 理研・環境資源科学研究センター、 ⁴ 東北大院生命科学、 ⁵ 神戸大院農)	
15. 作用部位特異性が付与されたジベレリン受容体機能阻害剤	30
○尹 禎敏、安藤卓也、福井康祐、大谷征史、Park Seung-Hyun、中嶋正敏、浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)	
16. 重イオンビームで誘発されたイネ矮性変異体集団を用いた DNA 変異の解析	31
○小暮祥子 ¹ 、森田竜平 ¹ 、林 依子 ¹ 、一瀬勝紀 ¹ 、若菜妙子 ¹ 、山田美恵子 ¹ 、東海林英夫 ¹ 、石井公太郎 ¹ 、佐藤雅志 ^{2,3} 、 阿部知子 ^{1,2} (¹ 理研・仁科センター、 ² 理研・イノベーションセンター、 ³ 東北大・院生命科学)	
17. 一細胞からの植物ホルモン定量分析法の確立	32
○清水崇史 ¹ 、宮川慎也 ² 、升島 努 ³ 、小柴共一 ² 、瀬尾光範 ¹ (¹ 理研・CSRS、 ² 首都大・理工・生命科学、 ³ 理研・QBic)	
18. ファゼイン酸還元酵素の阻害剤を指向したフッ素化基質アナログの合成	33
○宇佐美健太 ¹ 、藤井佑典 ¹ 、水谷正治 ² 、近藤 悟 ³ 、轟 泰司 ⁴ 、平井伸博 ¹ (¹ 京都大院農、 ² 神戸大院農、 ³ 千葉大院園芸、 ⁴ 静岡大院農)	
19. Theobroxide 処理に対する植物応答機構の解明	34
○山下雄大、犬飼 剛、高橋公咲、増田 税、松浦英幸 (北大院・農)	
20. シロイヌナズナ NRT1/PTR ファミリーの植物ホルモン輸送活性	35
○宮川慎也 ^{1,2} 、千葉康隆 ^{1,2} 、菅野裕理 ² 、小柴共一 ¹ 、神谷勇治 ² 、瀬尾光範 ² (¹ 首都大学東京・理工学系・生命科学専攻、 ² 理研・CSRC)	
21. ケミカルスクリーニングによる ABA 受容体に対する新奇アゴニストの同定	36
○岡本昌憲 ¹ 、Peterson Francis ² 、Cutler Sean ³ (¹ 鳥取大学・乾燥地研究センター、 ² メディカルカレッジ・オブ・ウィスコンシン、 ³ カリフォルニア大学リバーサイド校)	
22. ABA 受容体 PYLs の負のアロステリック調節因子 AS6 の熱力学的および構造的基盤	37
○竹内 純 ¹ 、岡本昌憲 ² 、秋山智則 ³ 、矢嶋俊介 ³ 、須恵雅之 ³ 、平井伸博 ⁴ 、大西利幸 ⁵ 、Sean Cutler ⁶ 、轟 泰司 ^{1,5,7} (¹ 静大院創造、 ² 鳥取大乾燥地研究センター、 ³ 東農大応用生科、 ⁴ 京大院農、 ⁵ 静大院農、 ⁶ University of California, Riverside、 ⁷ 静大グリーン研)	
23. 配座制限型 PYLs アンタゴニスト PAOn の生化学的機能解析	38
○山梨達也 ¹ 、竹内 純 ² 、岡本昌憲 ³ 、大西利幸 ⁴ 、轟 泰司 ^{1,3,4} (¹ 静岡大・農、 ² 静大院創造、 ³ 鳥取大乾燥地研究センター、 ⁴ 静大院農、 ⁵ 静大グリーン研)	
24. シロイヌナズナ PYR/PYL/RCAR 機能の解析	39
○姜 凱、徐 銀卿、中村英光、浅見忠男 (東京大学 農学生命科学研究科)	
25. ゼニゴケにおけるアブシシン酸シグナル伝達と二次代謝産物の変化	40
○蔭山暁人 ¹ 、石崎公庸 ² 、河内孝之 ² 、松浦英幸 ¹ 、高橋公咲 ¹ (¹ 北大院・農、 ² 京大院・生命)	
26. 新規ブラシノステロイド生合成阻害剤の不斉合成と立体異性体の生物活性	41
○王 敬銘、山田和弘、吉澤結子 (秋田県立大学・応用生物学)	
27. ブラシノステロイド生合成阻害剤 YCZ 蛍光プローブの合成と生物活性	42
○星 智樹、松本 直、山田和弘、吉澤結子、王 敬銘 (秋田県立大学・応用生物)	

28. ブラシノステロイド合成阻害剤 YCZ-18 の生物活性と標的酵素の解析 ……………	43
○松本 直、山田和弘、吉澤結子、星 智樹、王 敬銘 (秋田県立大学・応用生物)	
29. ブラシノステロイド不活性化酵素 CYP72C1 の酵素学的解析 ……………	44
○佐原瑞穂 ¹ 、渡辺文太 ² 、横田孝雄 ³ 、渡辺修治 ^{4,5} 、水谷正治 ⁶ 、大西利幸 ^{1,7} (¹ 静岡大・農、 ² 京大化研、 ³ 帝京大バイオ、 ⁴ 静大院工、 ⁵ 静大院創造、 ⁶ 神戸大院農、 ⁷ 静大グリーン研)	
30. ブラシノステロイド受容体阻害剤の創出 ……………	45
○野武 晃 ¹ 、轟 泰司 ^{1,2} 、中野雄司 ^{3,4} 、Hothorn Michael ⁵ (¹ 静大院農、 ² 静大グリーン研、 ³ 理化学研究所・基幹研究所、 ⁴ JST-CREST、 ⁵ Max-Planck-Society)	
10月31日(木) 14:00-15:40	
31. ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 <i>bil5</i> 原因遺伝子のエピジェネティック制御機構の解析と <i>bil</i> 遺伝子群による有用作物への形質導入の試行 ……………	46
○中野雄司 ^{1,3,6} 、山上あゆみ ¹ 、森 昌樹 ⁵ 、長田裕之 ^{1,3} 、Joanne Chory ² 、浅見忠男 ^{4,6} (¹ 理研・抗生物質研究室、 ² Salk Inst.、 ³ 理研・CSRS、 ⁴ 東大院・農学生命、 ⁵ 農業生物資源研、 ⁶ JST-CREST)	
32. ブラシノステロイド情報伝達因子 BIL4 と BSS1 の相互作用因子の解析 ……………	47
○山上あゆみ ¹ 、嶋田勢津子 ² 、齊藤知恵子 ³ 、中澤美紀 ² 、松井 南 ² 、作田正明 ⁴ 、中野明彦 ³ 、長田裕之 ^{1,2} 、浅見忠男 ^{5,6} 、中野雄司 ^{1,2,6} (¹ 理研・抗生物質研究室、 ² 理研・CSRS、 ³ 東大院・理、 ⁴ お茶大院・人間文化創成科学、 ⁵ 東大院・農生科、 ⁶ JST・CREST)	
33. ブラシノステロイド情報伝達因子 BIL7 の核移行条件と相互作用因子の解析 ……………	48
○宮地朋子 ^{1,2} 、市川尚斉 ³ 、松井 南 ³ 、藤岡昭三 ^{1,3} 、長田裕之 ^{1,3} 、浅見忠男 ^{2,4} 、中野雄司 ^{1,3,4} (¹ 理研・抗生物質研究室、 ² 東京大学大学院・農生科・応生化、 ³ 理研・CSRS、 ⁴ JST-CREST)	
34. ブラシノステロイド情報伝達因子 BIL3 産物の新規ペプチドホルモンとしての機能の可能性 ……………	49
○吉澤江里子 ¹ 、山上あゆみ ¹ 、中澤美紀 ³ 、松井 南 ³ 、作田正明 ² 、長田裕之 ^{1,3} 、浅見忠男 ^{4,5} 、中野雄司 ^{1,3,5} (¹ 理研・抗生物質研究室、 ² お茶大院・生命科学、 ³ 理研・CSRS、 ⁴ 東大院・農生科、 ⁵ JST・CREST)	
35. ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 <i>bil8</i> の細胞内相互作用因子の解析 ……………	50
○中田元基 ^{1,2} 、山上あゆみ ¹ 、市川尚斉 ³ 、松井 南 ³ 、長田裕之 ¹ 、久城哲夫 ² 、浅見忠男 ^{1,4,5} 、中野雄司 ^{1,3,5} (¹ 理研・抗生物質研究室、 ² 明治大院・農芸化学、 ³ 理研・CSRS、 ⁴ 東大院・農化生、 ⁵ JST CREST)	
36. ブラシノステロイド情報伝達低緑化型変異体 <i>bpg4</i> の FOX ラインからの単離と形態観察 ……………	51
○阿部 晋 ^{1,2} 、山上あゆみ ² 、市川尚斉 ³ 、松井 南 ³ 、長田裕之 ^{2,3} 、久城哲夫 ¹ 、浅見忠男 ^{4,5} 、中野雄司 ^{2,3,5} (¹ 明治大院・農芸化学、 ² 理研・抗生物質研究室、 ³ 理研・CSRS、 ⁴ 東大院・農化生、 ⁵ JST CREST)	
37. 球根植物におけるガム物質の形成制御およびその化学組成：ヒアシンズ (<i>Hyacinthus orientalis</i> L.) を中心として ……………	52
○宮本健助 ¹ 、Anna Jarecka Boncela ² 、Marian Saniewski ² 、上田純一 ³ (¹ 大阪府立大・高等教育推進機構、 ² ポーランド国立園芸学研究所、 ³ 大阪府立大・院・理学系)	
38. 傷害応答時における移動性シグナルとしてのジャスモン酸イソロイシンの機能 ……………	53
○武石翔平、佐藤千鶴、増田 税、松浦英幸 (北大院・農)	
39. シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合におけるジャスモン酸と AP2 型転写因子の関与 ……………	54
○朝比奈雅志 ¹ 、清水美甫 ² 、Pitaksaringkarn Weerask ² 、湯本絵美 ¹ 、山根久和 ¹ 、横田孝雄 ¹ 、佐藤 忍 ² (¹ 帝京大・理工・バイオ、 ² 筑波大・生命環境)	
40. イソプロチオランが植物の根の生育に及ぼす影響の解析 ……………	55
○草島美幸、宮寄 樹、松本貴嗣、仲下英雄 (東農大・応生化)	
41. アルキン型コロナチンの合成と <i>in vivo</i> ラマンイメージング ……………	56
○江越脩祐 ¹ 、田下 諒 ¹ 、山越博幸 ² 、閻闡孝介 ^{3,4} 、石丸泰寛 ¹ 、源治尚久 ¹ 、袖岡幹子 ^{3,4} 、上田 実 ¹ (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² 名古屋市立大学大学院薬学研究科、 ³ 理化学研究所・基幹研究所、 ⁴ ERATO-JST)	
42. オカボノクロアブラムシがハルニレに形成するゴールの性状解析 ……………	57
○武井麻美、吉田彩夏、川合隆史、鈴木義人 (茨城大・農)	
43. 新奇ストリゴラクトン 7β-hydroxy-5-deoxystrigol の同定 ……………	58
○来生貴也 ¹ 、中谷成史 ² 、謝 肖男 ¹ 、米山香織 ¹ 、秋山康紀 ² 、林 英雄 ² 、内田健一 ³ 、横田孝雄 ³ 、野村崇人 ¹ 、米山弘一 ¹ (¹ 宇都宮大・雑草科学、 ² 大阪府大院・生命環境・応用生命科学、 ³ 帝京大・バイオ)	

44. 根寄生植物ストライガが生産するストリゴラクトンの分析	59
○阿部聡子 ¹ 、謝 肖男 ¹ 、来生貴也 ¹ 、米山香織 ¹ 、吉田聡子 ² 、白須 賢 ² 、米山弘一 ¹ 、野村崇人 ¹ (¹ 宇都宮大・雑草科学研究センター、 ² 理研・環境資源科学研究センター)	
45. ヒマワリが分泌する根寄生雑草発芽刺激物質の解析	60
○梅田修平 ¹ 、上野琴巳 ¹ 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ^{1,2} (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² JST/JICA, SATREPS)	
46. タルウマゴヤシの生産する新規ストリゴラクトン <i>medicaol</i> の同定と生合成経路解析	61
徳永珠美 ¹ 、謝 肖男 ² 、米山弘一 ² 、○秋山康紀 ¹ (¹ 大阪府大院・生命環境・応用生命科学、 ² 宇都宮大・雑草科学研究センター)	
47. ストリゴラクトン生合成におけるカーラクトンの関与	62
○浅見 慶 ¹ 、佐渡愛香 ² 、花田篤志 ¹ 、瀬戸義哉 ¹ 、秋山康紀 ² 、山口信次郎 ¹ (¹ 東北大学・院・生命科学、 ² 大阪府大院・生命環境・応用生命科学)	
48. ミヤコグサ根における ¹³ C 標識 <i>carlactone</i> の 5-deoxystrigol への立体特異的変換	63
○佐渡愛香 ¹ 、謝 肖男 ² 、米山弘一 ² 、秋山康紀 ¹ (¹ 大阪府大院・生命環境・応用生命科学、 ² 宇都宮大・雑草科学研究センター)	
49. β-カロテン生産菌を用いたストライゴラクトン生合成中間体カルラクトン酵素合成の試み	64
○桑原一真 ¹ 、上野琴巳 ¹ 、三沢典彦 ² 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ^{1,3} (¹ 神戸大学院・農・生命機能科学、 ² 石川県立大学、 ³ JST/JICA, SATREPS)	
50. 植物における 5-デオキシストリゴールからモノヒドロキシストリゴラクトンへの変換反応	65
○上野琴巳 ¹ 、本並宜子 ¹ 、中野 瞳 ^{1,2} 、水谷正治 ¹ 、滝川浩郷 ^{1,2} 、杉本幸裕 ^{1,2} (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² JST/JICA, SATREPS)	
51. ストリゴラクトン分子の起源—カロテノイド光酸化仮説の検証—	66
○寺本 匡 ¹ 、米山弘一 ² 、秋山康紀 ³ 、山口信次郎 ⁴ 、平井伸博 ¹ (¹ 京都大院農、 ² 宇都宮大雑草科学研セ、 ³ 大阪府大院生命環境、 ⁴ 東北大院生命科学)	
52. 新奇ストリゴラクトン様活性化化合物の合成と生理活性評価	67
○加藤雄太 ¹ 、福井康祐 ^{1,2} 、太田 鋼 ¹ 、中村英光 ^{1,2} 、浅見忠男 ^{1,2} (¹ 東大院・農生科・応生化、 ² JST CREST)	
53. ストリゴラクトン (SL) シグナル因子 D14 による SL 加水分解と植物分けつ抑制活性の関係	68
○戸塚直哉 ¹ 、加藤雄太 ¹ 、侯 峰 ¹ 、石 玄 ¹ 、宮川拓也 ¹ 、福井康祐 ^{1,2} 、田之倉優 ¹ 、中村英光 ^{1,2} 、浅見忠男 ^{1,2} (¹ 東大院・農生科・応生化、 ² JST・CREST)	
54. ストリゴラクトンシグナル因子 D14 と DELLA タンパク質の相互作用の解析	69
○吉澤真人 ¹ 、中村英光 ¹ 、Park Seung-Hyun ¹ 、伊藤晋作 ¹ 、福井康祐 ¹ 、伊藤瑛海 ² 、上田貴志 ² 、浅見忠男 ¹ (¹ 東大院・農生科、 ² 東大院・理)	
55. ストリゴラクトン受容・シグナル伝達における D14 の機能とその分子メカニズムの解析	70
○中村英光 ^{1,2} 、薛 友林 ¹ 、宮川拓也 ¹ 、侯 峰 ¹ 、秦 慧民 ¹ 、福井康祐 ^{1,2} 、石 玄 ¹ 、伊藤晋作 ¹ 、戸塚直哉 ¹ 、 宮内裕美子 ¹ 、浅野敦子 ¹ 、田之倉優 ¹ 、浅見忠男 ^{1,2} (¹ 東大院・農生科、 ² JST/CREST)	
56. <i>S. gesnerioides</i> D14-like 遺伝子の探索とストライゴラクトン加水分解活性の評価	71
井上共生 ² 、○藤岡 聖 ¹ 、水谷正治 ² 、杉本幸裕 ^{2,3} (¹ 神戸大・農・生命機能科学、 ² 神戸大院・農・生命機能科学、 ³ JST/JICA SATREPS)	
57. Myc-LCO およびキチンオリゴ糖を処理したミヤコグサ根におけるストリゴラクトンおよび菌根共生関連遺伝子の発現解析	72
○河原千春、秋山康紀 (大阪府大院・生命環境・応用生命科学)	
58. シロイヌナズナにおけるストリゴラクトン応答遺伝子の解析	73
○伊藤 賢 ¹ 、細井昂人 ¹ 、今井美咲 ² 、佐々木康幸 ¹ 、矢嶋俊介 ¹ 、浅見忠男 ³ 、伊藤晋作 ¹ (¹ 東農大・応生科・バイオ、 ² 東農大・ゲノムセンター、 ³ 東大院・農生科・応生化)	
59. ストリゴラクトンはリン酸欠乏に应答してイネの葉の老化を制御する	74
○山田雄介 ¹ 、古澤綜也 ² 、下村講一郎 ¹ 、山口信次郎 ³ 、梅原三貴久 ¹ (¹ 東洋大・院・生命科学、 ² 東洋大・生命科学、 ³ 東北大・院・生命科学)	
60. シロイヌナズナのロゼット葉におけるストリゴラクトンの生理作用	75
森本 優 ¹ 、東大野むつみ ¹ 、○瀬戸義哉 ¹ 、桧垣 匠 ² 、馳澤盛一郎 ^{2,3} 、山口信次郎 ¹ (¹ 東北大学・院・生命科学、 ² 東大・院・新領域、 ³ JST・先端計測)	

10月31日(木) 16:00-17:40

61. イネのげんげつにおけるストリゴラクトンとジベレリンのクロストークの解析 76
○山上大智^{1,3}、伊藤晋作^{1,2}、浅見忠男^{1,3}
(¹東大院・農生科・応生化、²東農大・農生科・バイオ、³JST CREST)
62. スクロースは地上部除去後のイネのストリゴラクトン含量を回復させる 77
○米山香織、来生貴也、謝 肖男、野村崇人、米山弘一
(宇大・雑草研)
63. シロイヌナズナのストリゴラクトン生合成は窒素により制御される 78
○杉浦菜月¹、米山香織¹、来生貴也¹、謝 肖男¹、山口信次郎²、米山弘一¹、野村崇人¹
(¹宇都宮大・雑草科学研究センター、²東北大・生命科学)
64. 新奇エチレン様活性物質の探索及び生理作用解析 79
○堅固山裕子^{1,2}、北畑信隆²、安藤卓也^{1,2}、浅見忠男^{1,2}
(¹東大院・農生科、²科学技術振興機構・CREST、³東京理科大・理・応用生物科学科)
65. 新規骨格を有するセルロース生合成阻害剤 HJ27 の機能解析 80
○安藤卓也^{1,3,4}、北畑信隆²、大谷征史^{1,4}、早瀬大貴³、長田裕之^{3,5}、中野雄司^{3,4,5}、浅見忠男^{1,4}
(¹東大院・農生科、²東京理科大・理・応用生物科学科、³理研・抗生物質研究室、⁴科学技術振興機構・CREST、⁵理研・環境資源科学センター)
66. 重水素化プロゲステロンおよび関連する重水素化誘導体の合成 81
○内田健一、横田孝雄
(帝京大・理工・バイオ)
67. 高等植物におけるプロゲステロンの生合成と代謝 82
湯本絵美、柴田恭美、内田健一、○横田孝雄
(帝京大・理工・バイオ)
68. アマギテンナンショウの性転換に関わる化学物質の探索 83
○井上智宏¹、渡辺修治^{2,3}、大西利幸^{4,5}
(¹静岡大・農、²静大院創造、³静大院工、⁴静大院農、⁵静大グリーン研)
69. ヤマノイモ属トゲドコロのステロイドサポニン生合成に関わるステロール 22 位水酸化酵素の同定 84
○李 ヒョンゼ¹、山村理恵¹、川崎 崇¹、中安 大¹、遠城道雄²、杉本幸裕¹、水谷正治¹
(¹神戸大院・農学研究科、²鹿児島大学・農学部)
70. ヤマノイモ属トゲドコロにおけるステロイドサポニン生合成 16 位水酸化酵素の同定 85
○山村理恵¹、李 ヒョンゼ¹、川崎 崇¹、中安 大¹、渡辺文太²、遠城道雄³、杉本幸裕¹、水谷正治¹
(¹神戸大院・農・生命機能科学、²京都大・化学研究所、³鹿児島大・農)
71. ナス科植物ステロイドグリコアルカロイド生合成に関わる新規 2-オキソグルタル酸依存性ジオキシゲナーゼ：
16 位水酸化酵素の同定と機能解析 86
○中安 大¹、梅基直行²、大山 清^{3,4}、渡辺文太⁵、村中俊哉^{4,6}、斉藤和季^{4,7}、杉本幸裕¹、水谷正治¹
(¹神戸大院・農・生命機能科学、²キリン・基盤研、³東工大院・理工、⁴理研 CSRS、⁵京大・化研、⁶大阪大院・工、⁷千葉大院・薬)
72. イネ病害抵抗性を誘導するアシルスペルミジンの構造決定 87
○岩川純也¹、彦坂政志¹、中村英光¹、前田 哲²、森 昌樹²、浅見忠男¹
(¹東大院・農生科・応生化、²農業生物資源研究所)
73. イネにおけるモミラクトン生合成に関与するデヒドロゲナーゼの機能解析 88
○宮本皓司^{1,3}、長谷川守文²、野尻秀昭³、山根久和^{1,3}、岡田憲典³
(¹帝京大・バイオサイエンス、²茨城大・農、³東大・生物生産工学研究センター)
74. イネの転写因子 DPF は N-box を介してジテルペン型ファイトアレキシン生合成遺伝子の転写を制御する 89
水谷恵美^{1,2}、山村千紘^{1,2}、福島説子¹、中川 仁¹、前田 哲¹、松下 茜¹、鎌倉高志²、岡田憲典³、山根久和⁴、高辻博志¹、○森 昌樹¹
(¹農業生物資源研究所、²東理大・理工、³東大・生物生産工学研究センター、⁴帝京大・バイオサイエンス)
75. イモチ病菌におけるキメラ型ジテルペン合成酵素遺伝子 ―第 2 報― 90
○佐藤智美¹、後藤麻子¹、南 栄一²、長谷川守文³、岡田憲典⁴、山根久和^{4,5}、三橋 渉¹、豊増知伸¹
(¹山形大学・農学部、²農業生物資源研究所、³茨城大学・農学部、⁴東京大学・生物生産工学研究センター、⁵帝京大学・バイオサイエンス学科)

76. オオムギにおいて病原菌感染によって蓄積する芳香族アミン類	91
○石原 亨、八木佑香里、中島廣光 (鳥取大・農)	
77. 植物の感染防御応答におけるホスファチジルイノシトール -3- キナーゼ阻害剤の効果	92
○北畑信隆 ¹ 、大滝 幹 ¹ 、八木智華子 ¹ 、筒井咲妃 ¹ 、来須孝光 ² 、朽津和幸 ¹ (¹ 東京理科大・理工、 ² 東京工科・応用生物)	
78. タバコ培養細胞 BY-2 を用いた新規植物免疫活性化剤と抑制剤の探索と解析	93
○八木智華子 ¹ 、北畑信隆 ¹ 、吉川岳史 ¹ 、助川夏男 ¹ 、来須孝光 ² 、浅見忠男 ³ 、朽津和幸 ¹ (¹ 東京理科大・理工、 ² 東京工科大・応用生物、 ³ 東京大・農生科)	
79. ダイズシストセンチュウに対する孵化促進物質の解析	94
○町田教暢 ¹ 、近藤竜彦 ² 、佐々木康幸 ¹ 、矢嶋俊介 ¹ 、浅見忠男 ³ 、伊藤晋作 ¹ (¹ 東農大・応生科・バイオ、 ² 名古屋大学 大学院生命農学研究科、 ³ 東大院・農生科・応生化)	
80. ミヤコグサにおけるグリシノエクレピン A 応答遺伝子の探索	95
○細井昂人 ¹ 、今井美咲 ¹ 、佐々木康幸 ¹ 、矢嶋俊介 ¹ 、浅見忠男 ² 、伊藤晋作 ¹ (¹ 東農大・応生科・バイオ、 ² 東大院・農生科・応生化)	
81. CLE ペプチド-HAR1 受容体シグナル伝達を介した根粒形成の遠距離制御	96
○岡本 暁 ^{1,2} 、篠原秀文 ¹ 、森 友子 ¹ 、松林嘉克 ¹ 、川口正代司 ¹ (¹ 基礎生物学研究所、 ² 日本学術振興会特別研究員 PD)	
82. アラビノシル化 CLV3 ペプチドは CLV1 と BAM1 に結合する	97
○篠原秀文、松林嘉克 (基礎生物学研究所)	
83. bZIP 型転写因子と 14-3-3 相互作用に対するフシコキシンの影響—第 2 報—	98
○千葉光浩 ¹ 、藤岡 興 ¹ 、深澤壽太郎 ² 、三橋 渉 ¹ 、加藤修雄 ³ 、豊増知伸 ¹ (¹ 山形大学農学部、 ² 広島大学大学院理学研究科、 ³ 大阪大学産業科学研究所)	
84. 就眠運動に関わるアメリカネムノキの K ⁺ チャネルの解析	99
○及川貴也 ¹ 、石丸泰寛 ¹ 、浜本 普 ² 、魚住信之 ² 、上田 実 ¹ (¹ 東北大院・理、 ² 東北大院・工)	
85. 高アレロパシー活性を示すサクラ (<i>Prunus</i> sp. TP-18) が生産する機能性物質	100
○千田ゆかり ¹ 、新津史恵 ¹ 、富田-横谷香織 ¹ 、鈴木利貞 ² 、松本麻子 ³ 、加藤珠理 ³ 、吉丸博志 ⁴ 、藤井義晴 ⁵ 、佐藤誠吾 ¹ (¹ 筑波大・生命環境、 ² 香川大・農、 ³ 森林総研、 ⁴ 多摩森林科学園、 ⁵ 農工大・農)	
86. 花粉に含まれる蛍光物質の化学生態学	101
○森信之介 ¹ 、故福井宏至 ² 、後藤勝実 ³ 、月岡淳子 ³ 、平井伸博 ¹ (¹ 京都大院農、 ² 香川大名誉教授、 ³ 京都薬科大附属薬用植物園)	
87. セントポーリアの花弁に含まれる相互作用によって赤色蛍光を発現する化合物群の探索	102
○中山真義 ¹ 、立澤文見 ² (¹ 農研機構花き研、 ² 岩手大農学部)	
88. 根寄生雑草の選択的防除法確立に資するヤセウツボ発芽時の糖代謝に関する研究	103
○若林孝俊 ^{1,2} 、安本周平 ¹ 、明石智義 ³ 、青木俊夫 ³ 、杉本幸裕 ^{4,5} 、太田大策 ⁶ 、村中俊哉 ¹ 、岡澤敦司 ^{5,6} (¹ 阪大院・工、 ² JSPS、 ³ 日本大・生物資源、 ⁴ 神戸大院・農、 ⁵ JST-JICA・SATREPS、 ⁶ 阪府大院・生命環境)	
89. 根伸長促進物質 L-β-フェニル乳酸による水稻幼植物の生育促進	104
○安達祐介 ¹ 、木村和彦 ² 、三枝正彦 ³ 、高橋能彦 ¹ 、大山卓爾 ¹ 、渡邊 肇 ¹ (¹ 新潟大学、 ² 宮城大学、 ³ 豊橋技術科学大学)	
90. バラ香氣成分 2-Phenylethanol 生合成経路はどのようにして季節変動するのか?	105
神田桃代 ¹ 、平田 拓 ² 、渡辺修治 ^{2,3} 、○大西利率 ^{1,4} (¹ 静大院・農、 ² 静大院・創造、 ³ 静大院・工、 ⁴ 静大・グリーン研)	
91. アサガオの貧栄養ストレス応答花成はサリチル酸とインドール酢酸で制御される	106
○古塩 綾 ¹ 、竹能清俊 ^{1,2} (¹ 新潟大・院・自然科学、 ² 新潟大・理)	